

目標達成計画

作成日: 令和6年2月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	新型コロナウイルスの感染症予防により、ここ数年はホームでの祭りや忘年会など地域の方は不参加で、ユニットごとに小規模で行ってた。そのため2つのユニットの職員が協力して行事を行うことが出来なくなってきている。	ホーム全体で協力してご利用者、ご家族、地域で楽しんでもらえるイベントを考えて開催する。	新型コロナウイルスの感染症対策が緩和され、ご家族、地域とのイベントが開催出来る時に向けて、緩和されていない状態でも、2つのユニットで相談しながら、協力して行事を行っていく。	10ヶ月
2	20	・自分から希望の言う方は支援しているが、希望を言わない方、言えない方は支援出来ない事が多い。 ・職員が知り得たご利用者の知人やご家族の名前や関係、エピソードなど記録に残していないことがあり、職員間で情報を共有出来ない。 事業継続化計画について職員全体に周知できていない。	・希望の言えない方、言わない方でも住み慣れた地域との関係や交流が途切れずに過ごすことが出来る。 ・職員が知り得たご利用者の知人、ご家族との情報を記録に適切に残し、職員間で共有することが出来る。	・希望の言えない方、言わない方はご家族との信頼関係を作りながら、地域での交流の関係を聞きする。また一緒に住み慣れた地域に行き話をしながら聞きする。 ・面会に来られた時など忘れずに関係や名前やエピソードなどをお聞きし記録に残す。	6ヶ月
3	25	事業継続化計画について職員全体に周知できていない。	事業継続化計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施する。また見直しを行い、必要に応じて変更をする。	計画している非常災害時の訓練(初動)に合わせてBCPの訓練を行っていく。そうすることで一連の流れを理解できる。また訓練の回数を確保し職員全体に周知することができると考える。	10ヶ月
4	28	入居時などに、食事については形態などは把握するようにしていたが、好きな食べ物などをお聞きすることがなく、食事を楽しんでもらおうとする気持ちが足りない。	ご利用者一人一人の好きな食べ物や味付けを把握し食事を楽しんでもらうことが出来る。	入居時に食事の好みをお聞きする。既に入居されている方にもお聞きしていく。また日々過ごす中で好きな食べ物、嫌いな食べ物など嗜好を知ることが出来た場合は記録に残して職員で共有していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。